

# 大会宣言

新潟県小学校長会は、真摯に研究と実践を重ね、会員の英知と組織の総力を結集して、本県小学校教育の充実・発展に著実な成果をあげてきた。また、今後も小学校の統廃合が進み、会員数が減少すること、会務の執行及び内外の諸課題に対応する必要性があること等から、予算編成や会務の見直しを行い、持続可能な会の運営について検討してきた。

今、社会では、教育による地方創生対策等が叫ばれ、学校教育に対する期待と要請が高まっている。とりわけ、人間関係の希薄化が進む中、人と人との絆づくりに取り組み、地域に根ざした未来を創る子どもの育成が求められている。また、学校が抱える課題は、自然災害や新型コロナウイルス感染拡大防止対策を含めます多様化・複雑化し、学校経営の舵取りが難しい時代を迎えている。加えて、GIGAスクール構想を踏まえた授業改善をはじめとする教育の質の確保・向上や社会での活動を通じた自己研鑽の充実の観点からも「学校における働き方改革」の実施に向けた一層の取組が求められている。だからこそ、歩みをとめることなく学校経営を推進しなければならない。

このような状況において、学校教育の果たすべき責務は、地域や行政と協働し、未来社会の創り手を育てるべく、確かな学力や豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を確実に育むことである。具体的には、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上、いじめを見逃さない・許さない意識の醸成、よりよい人間関係を構築していく力の育成などを図ることである。そのためには、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、社会に開かれた教育課程の実現を図ることが重要である。

新潟県の学校教育においては、「一人一人を伸ばす教育」一人一人の個性に応じた、質の高い豊かな教育の推進」の基本理念のもと、「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり」を実現することを目指し、教育施策の方向性が示されている。また、政令指定都市新潟市の学校教育においては、「学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子ども」の育成を基本目標に、「学・社・民の融合による人づくり・地域づくり・学校づくり」を推進する教育施策の方向性が示されている。新潟県・新潟市とも、「地域とのつながり」を重視した教育活動の充実を求め、その成果を地域力・住民力の向上につなげようとする姿勢と受け止めることができる。

私たち会員は確固たる経営理念と高い使命感をもち、校長としてのリーダーシップを発揮しながら、地域や学校の実態に即した明確な方針と具体的な方策を提示し、教職員の力量を高め、家庭・地域の人々と共に創意と活力にあふれた学校づくりに努めなければならない。そのために、会員は鋭い先見性と豊かな創造性を発揮して、県民・市民の信頼を勝ち得る校長会を目指す。

新潟県小学校長会は、ここに第八十一回新潟県小学校長会代議員会糸魚川大会の総意に基づき、次の決意を表明し、その実現に全力を尽くすことを宣言する。

## 記

- 一、学習指導要領の確実な実施と社会に開かれた教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、教育のICT化に向けた環境整備と学習活動の充実
- 一、学校における勤務時間・業務内容・健康管理を意識した働き方改革の推進
- 一、他者と協働しながら絆を強め、高い志をもって学び続ける子どもを育てる学校経営の推進
- 一、学校経営者としての資質向上を図る研修の充実
- 一、地域とのつながりを重視した教育活動の成果発信
- 一、地域連携を基盤とした防災教育実践の推進と、東日本大震災で被災・避難した児童への支援の継続
- 一、教職員定数・処遇等の改善及び福利の向上を目指した調査研究・要望活動の継続
- 一、会員相互の連携と学校経営の改善・充実に資する広報活動の推進
- 一、持続可能な県小学校長会の組織・運営等の改善

令和三年五月十二日

第八十一回新潟県小学校長会代議員会糸魚川大会